



あねたい はるじ 姉帯 春治 議員

### 問 病院の入口周辺の整備は

### 答 新庁舎整備後に対応

#### 病院入口の不便

**議員** 病院に来る患者の足元が悪いことを、どのように考えているか。  
**町長** 病院に来院される方は、平日の日中は役場

**町長** 葛巻病院では、経営状況の審議機関として職員で構成する病院経営検討委員会と、住民の代表などで構成する病院経営審議委員会の二つの委員会を設置しており、それぞれ年2回ほど会議を開催している。  
これらの委員会では、病院の予算や決算のほか、診療体制など病院経営全般を議題としている。これまでの会議では、病院の入口の件は議題・話題となっていない。

#### 入口周辺の整備

**議員** 病院の入口周辺の整備の完成は。  
**町長** 外構工事については、新たな町の拠点となる新庁舎の整備と合わせて一体的に実施すること

**町長** 西口玄関は、町道との接続が段差となっているため、階段を設置しているが冬期間は屋根から降雪する恐れがあることから、南側(堤防側)に迂回し、不便と認識している。  
当初、旧病院解体撤去後に病院の駐車場を含む外構工事を実施する予定だったが、新庁舎を病院と隣接する形で整備することから、施工の重複を避けるため当面の間は現況での利用をお願いする。



葛巻病院の西口玄関 (役場側)

で、デザインの統一感、安全性に配慮した人・乗り物の動線の確保、施設間の往來の利便性の向上などが図られる。  
新庁舎の整備は、大きく二つに分けて工事を行う予定であり、病院に隣接整備する新庁舎棟と、病院前を含めた周辺の外構工事を1期工事としており、31年度上期に発注、完成は2年後の32年度末を目指している。



たつやなぎ けいいち 辰柳 敬一 議員

### 問 老朽公共施設の整備計画は

### 答 個別計画を32年度に策定

#### 公共施設の整備

**議員** 老朽化が進む公共施設の整備をどのように考えているか。  
**町長** 町の公共施設の多くは、高度経済成長期の昭和40年代半ばから集中的に整備されており、老朽化が進み今後、大規模修繕や改修などが必要な状態。このような公共施設の老朽化対策は、全国的に大きな課題の一つとなっており、国では25年に「新しく造ること」から「賢く使うこと」への重点化に取り組み、地方公共団体においても国の動きと歩調を合わせ、総合的かつ計画的な管理をするよう求められている。  
このことを受け、28年度に町公共施設等総合管理計画を策定し、社会的構造や町民ニーズの変化に合わせた公共施設の最適配置と効果的な利活用、

#### 町有林の有効活用

総合的かつ計画的な管理を推進し、更新に係る財政負担の軽減に取り組んでいる。  
個別施設の具体的な整備計画は、「公共施設個別施設設計画」を32年度の策定に向けて作業を進めている。  
**議員** 町有林を活用し雇用につなげる取り組みを進める考えは。  
**町長** 現在、町有林は葛巻、江刈、田部の3事業区に区分し管理しており、総面積は1658畝で、そのうち人工林が54畝、天然林が46畝。  
町では、基幹産業の一つである林業の計画的かつ適切な管理に努めるため町森林整備計画を策定し、森林整備の基本的な考え方や管理に係る施策方針を定め、5年ごとに内容を見直しながら造林



森林での伐倒作業

や保育、伐採などの管理を行っており、年間30、50畝程度で植栽・間伐・下刈などを実施している。  
現在、県内の木材需要は北上市に大型合板工場が稼働したことや、一戸町や野田村での木質バイオマス発電施設が稼働したことにより増加傾向にあるが、木材市況はほぼ横ばいで推移している。  
このような状況を踏まえ、町有林の人工林は、これ

までと同様に間伐、保育などの育林作業を計画的に進める考え。  
町では、酪農や林業などの1次産業を振興することで、担い手や若者の働く場の確保、移住・定住が促進されるよう対策を講じてきた。林業の振興、森林整備を図るために県や全国森林組合連合会などの関係機関と連携し、必要な支援を行い新たな雇用につなげたい。